	11 74 0 -	<u>· · · · · · · · · · · · · · · · · · · </u>	計画		自己評価					学校関係者	
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	臐	中間 9月	最終 2月	強渡	評価	結果と課題の分析	評価 コメント	改善方策
基習付がン定のる 「話になう安身図	「早寝」「早 起き」「挨拶」 の生活習慣 を身につけ る。 (集体性活動)	毎月1週間 の生活リズ ムチェック の実施	年少: 早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着 年中: 早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着 年長: 早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着	100 % 8 8% 8 3%	早寝80% 早起き80% あいさつ80% <u>80%</u> 早寝75% 早起き85% あいさつ90% <u>83%</u> 早寝70% 早起き70% あいさつ97% <u>79%</u>	早寝60% 早起き60% あいさつ80% 67% 早寝67% 早起き60% あいさつ87% 71% 早寝69% 早起き75% あいさつ83% 76%	67% 89% 92%	C B	・生活リズムチェックが定着し、自分から意識できる子が増えてきた。寒くなり、早寝早起きの割合が低くなった。 ・立ち止まって名前を呼んで元気よく挨拶できる子が増えてきた。	・お店に買い物に行き、商品を受け取るとき、お店を出るときに、自然に「ありがとうございました」と挨拶をしている。幼稚園のいろいろな場面で挨拶が習慣づい	生活リズムチェックの保護者感想(好事例)を便りで知らせ、保護者サポートの大切さを啓発していく。
	身体を十分 に動かして 遊びながら, 身体の統合 感覚を養う。 (運動遊び)	運動発達の めやす表の 項目を意識 した活動の 取組	年少: 三輪車をこぐ・平均台横歩き・ブランコ座りこぎ・ 両足跳び (5回) ができる。 年中: 鉄棒前回り・竹ぽっくり・ボール運動 (投げる, 受ける, 転がす, 蹴る)・大縄跳び10回ができる。 年長: 竹馬・逆上がり・短縄跳び (前跳び連続10回) ができる。	100% 100% 8 3%	三輪車100%平均台 100% <u>100%</u> 竹ぽっくり・鉄棒・ 100% <u>100%</u> 竹馬100% 逆上83% <u>92%</u>	両足眺び5回100% ブランコ座りこぎ60% 80% 大縄跳び100% ボール運動100% 100% 逆上がり83% 前跳び10回75% 79%	80% 100% 95%	B A B	・目標を決め年間を通して、計画的、継続的に取り組み 失敗してもあきらめないで 繰り返して頑張ろうとする 姿が、多くみられるように なった。 ・友だちどうし励まし合っ たり認め合ったりして、意 欲的に取り組むことができ た。	ているからだと思う。 ・幼稚園でも早寝早起き にの大切さについて話 していただき、呼びかけ て欲しい。 ・子どもどうし教え 合い励まし合いなが ら、目標に向けてチャレンジしているの がすばらしい。	今後も、計画的継続 的に取組を進め、みんなで励ましあい、 認め合いながら、達成感を共有できる ようにしていく。
	自主的な身 支度・身辺整 理の力を養 う (身抜・泉水産 郷)	登降園時の 重点指導と 個別指導 (身の回 り)	年少:援助を受けながら、身の回りのことや片付けを自分でする 年中:身支度や身辺整理の必要性や手順を理解して、自分から進んで行う。 年長:ロッカーの中を整理整頓する。使ったものを 片付ける。	100% 100% 8 3%	身の回り 60%片付け80% 70% 身支度 75%身辺整 理75% 75% 整理整頓 75%・片付け75% 75%	身の回り 80%片付け 100% <u>90%</u> 身支度 100%身辺整 理 100% <u>100%</u> 整理整頓・片付け 75% 75%	90% 100% 90%	B A B	・流れを理解し、見通しをもって整理整頓の習慣が身についてきた。 ・反面、個人差があり片付けが後回しになることもある。個別に対応し意欲がもてるようにしている。	・個人ロッカーの かごの整理整頓 は、仕切りをつけ たり、置く場所が 視覚的に分かる ようにしたりす る等、工夫できる とよい。	視覚支援(写真)を利用して、ロッカーの整理されている状態が、目で見てすぐに分かるようにする。日常的に整理整顧する時間を設定する。できたとき、認めていく。
体験活動を 充実させて 豊かな感性 を養う	他の人と親しみ,自分で考え行動し, 人と関わる力を育む。 (人間関係)	行事や遊び を通して人 と関わる場 面を設定す る。	年少:保育者や友達に親しみを持ち、安心してすごしながら集団生活のきまりを守って生活する。 年中:友達と一緒に集団遊びを楽しむ中でルールの大切さに気付き、相手の良さを認めたり気持ちに気付いたりする。 年長:集団生活のルールを守り、自分の気持ちや考えを表現しながら、友だちの思いも理解しようとする。	100% 8 8% 8 3%	8 0% 6 3% 6 7%	8 0% 8 8% 8 3%	80% 100% 100%	B A A	・集団遊びを通して人 と関わる楽しさ、大切 かを守ることの大切 さ、主体的に工夫する 力が身に付き、自主的 びにおいても、自主的 に集団遊びに取り組む ようになった。相手の 気持ちを理解しようと する子も増えてきた。	・異年齢どうしの 関わりが良いの は、年長児のリー ドがあり、年下児 は憧れを持って いる。よい伝統と なっていると思 う。	引き続き、さまざまな 行事や集団遊びを通 して、友だちと関わる 場面を多く設定し、ル ールを守る大切さを 理解し、人と折り合い をつける力を育てて いく。異年齢の関わり を大切にしていく。
	コミュニケ ーション力 を育む。 (聞く・話す)	様々な活動場で をおいる でないで をおいる でで を がいたのし たりする。	年少:相手を見て話を聞く。友だちや保育者に経験したことや考えたことを自分なりの言葉で伝える。 年中:話を聞く大切さがわかり良い態度で聞く。みんな前で自分の思いや感じたことを言葉で伝える。 年長:経験したことや感じたことを自分の言葉で伝える。話している人を見て、最後まで落ち着いて話を聞く。	100% 8 8% 8 3%	聞く 40% 話す 40% 40% 聞く 75% 話す 88% 82% 聞く 67% 話す 67%	聞く60% 話す60%60% 聞く100% 話す100%100% 聞く75% 話す83%79%	60% 114% 95%	C A A	・園全体で話を聞く大切されて、最後までで、最後をでは、まとさができる子が増えてきり場で、感想や意見を発えてき、後生をといて、感想やで、感想やでで、感想できれば、ない。	・人の話を落ち着 いて,最後まで静 かに聞くことが できている。年中 組は 1 学期に比 べて成長した。	最後まで話を聞くこと,気持ちを切り替えてすぐに話を聞く問います。ことの大切さを伝え,よくできている園児を褒め,全体で話を聞く態度を育てていく。

「目標値」に対する「達成度」を A~D で評価する。 達成度 A (100%以上) B (80%~100%未満) C (60%~80%未満) D (60%未満)